

| | | | | |
|-----------------------------------|------|-----------------|-------|----------------|
| 【担当教員名】 日本赤十字社 新潟県支部 救急法指導員 | 対象学年 | 3(理・作・言・社)・4(健) | 対象学科 | 理学・作業・言語・健康・社会 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15時間 |

<概要>

誰もが事故を防止し、緊急時に必要な救助や手当ができるように、正しい救急法の知識と技術を身につけ、人間愛に基づいてこれを行う。また習得した知識と技術を、日常生活において自他共にそれを実践し、安全で健康的な生活を築くため活用する。

<学習目標>

1. 赤十字救急法の基本的な知識を手順に基づき理解する。
2. 心肺蘇生法の内容と重要性を理解する。
3. 外傷に対する適切な手当を理解する。
4. 保護ガーゼ、包帯の目的を理解する。
5. 骨折などに対する適切な手当を理解する。
6. 日常生活の中で、緊急度や頻度の高い病気の症状に対する応急手当を理解する。
7. 搬送は傷病の手当と同様に重要であることを理解する。
8. 災害救護について理解し、積極的に防災ボランティアへの参加を理解する。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|--|--|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 赤十字救急法について 手当の基本(観察、体位、保温、体位の変換) | | 講義・実技 |
| 2 | 心肺蘇生法 実技と手順(観察、意識の確認、協力者、気道確保、呼吸の確認 人工呼吸、循環サインの確認 心臓マッサージ、組み合わせ、胃の膨らみ、異物の除去) | | 講義・実技 |
| 3 | きずと止血 正しい方法と確実な止血(患部の挙上、直接圧迫止血、間接圧迫止血など) | | 講義・実技 |
| 4 | 包帯 基本的な実技(保護ガーゼ、三角巾包帯10項目) | | 講義・実技 |
| 5 | 骨折・脱臼・捻挫など 骨折の症状の理解と固定法実技 | | 講義・実技 |
| 6 | 急病 病気の症状の理解と応急手当 | | 講義・実技 |
| 7 | 搬送 搬送の重要性の理解と基本的な実技 | | 講義・実技 |
| 8 | 救護 救急法で身につけた基本的な実技の総合的な活用 | | 講義・実技 |
| ※講義日程は、平成16年度シラバス・学生便覧に記載されている学事暦・時間割表を参照。 | | | |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|--------------|-------|-------|--------------|
| 教科書 | 救急法講習教本(非売品) | | | |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|--|--|
| 【評価方法】 赤十字救急法救急員養成講習検定 学科80点以上 実技合格・出席率100% 受講証・認定証交付 本学の評価は、学科試験60点以上・実技合格 | 【履修上の留意点】 本科目は、日本赤十字社の資格認定講座「救急員養成講習」となりカリキュラムは 15時間となっているが実際は28時間相当の授業が必要です。 その他、1人当たり教材・資材費として3000円が必要です。 |
|--|--|